

第四回「阿波しらさぎ文学賞」開催

徳島新聞社との共同主催にて実施している掌編小説コンクール「第四回阿波しらさぎ文学賞」の応募が六月十日に締め切られた。

応募作品数は五一六点で、昨年よりも五一点上回り、過去最多となった。

応募者の居住地は全国四三都道府県に及び、徳島県内からの応募は一五六点で、東京都が九二点、神奈川県三五五点、大阪府三四点、千葉、埼玉、兵庫、福岡、京都、愛知が、それぞれ十以上で、今年初めて海外からの応募もあった。

二五歳以下の作品は九十点で昨年より一六点増え、最年少は一一歳、最高齢は八八歳、平均年齢は四四・七歳であった。会社員や学生らを中心に、文筆業、教員、画家、医療従事者、僧侶、調理師、歌手など、応募者の職業も多彩である。

過去の受賞者達の活躍がめざましいことと共に、チラシやポスターの配布、S N

Sなどを駆使しての広報により、賞の知名度も年々上がり、コロナ禍で小説を書くという人が増えたことが背景にあるのかもしれない。

応募作品は、徳島文学協会の一次選考を経て、吉村萬壺さんと小山田浩子さんの芥川賞作家二人、岡本光雄徳島新聞社理事、佐々木義登徳島文学協会会長による最終選考が行われる。

受賞作は八月中旬以降に発表、表彰式は九月十二日に行われる予定である。



阿波しらさぎ文学賞記念行事
授賞式&トークイベント(予定)

- 開催日 九月十二日(日)
- 場所 徳島新聞社ホール
- 参加費 無料

※受賞者とイベント詳細については、徳島新聞紙面にて八月発表予定



カクヲタノシム創刊号と第二号

カクヲタノシム Vol.3
二〇二二年冬、発刊予定

《みんなの原稿》
大募集
二百文字の
メッセージ募集

掲載原稿を募集しています。ジャンル不問。詳しくはメールまたは電話で協会事務局までお問い合わせ下さい。掲載参加料、原稿フォーマットなどを明記した応募要項をお送りします。

応募締切

- 小説 二〇二二年七月末日
- 他作品 二〇二二年九月末日

※第三号はご応募いただいた方と会員の皆様全員に無料進呈

創刊号と第二号を販売しています。税込六六〇円+送料。数に限りがありますのでお早めにお問い合わせください。

宛先:
society@
t-bungaku.com
応募締切:
二〇二二年十月末日

2020年度 徳島文学協会会計報告 (2020年4月1日～2021年3月31日)	
収入総計	1,343,569円
支出総計	966,867円
差引残高	376,702円

徳島文学

福島 健太郎

過日、『徳島文学』第四号が発刊された。自分のコラムが掲載されたこともあり、手許に届くのを心待ちにしていた。

届くと、早速ページを繰り、自分の雑文を一目した後、いくつかの小説を読み耽った。

何度も立ち止まりながら読んだ作品、一目十行で読んだ作品、面白く読み通せた作品、途中で投げた作品など、自分の意に合う作品もあれば、そうでない作品もあるのは当然であるが、概して面白い作品が多かったのは、私にとって大きな収穫であった。

無聊の慰めは読書だけの私も、これまで小説をあまり読んでこなかった。殊に、現代小説には心惹かれることなく、縁なきものとして看過してきたのである。どうせ、人の一生は短いものである。興味を惹かれるものだけを味わうのがいいので、関心のないものに取替えて時間を割くのは、何だか惜しい気がしてならなかったのである。

ところが、この頃暇に飽かして、『徳島文学』の第二号、第三号（第一号は紛失した）に掲載されている小説を続け様にいくつか読んでみたのだが、どれも面白いのである。実に意外であった。現代小説はこんなに面白いもので

あったかと感嘆した。今日まで看過してきたことを遺憾に思った。

以来、私は図書館に足繁く通い、現代小説を涉猟しているのである。愛読書に出会うことも得た。日夜、読み耽っている。これは、偏に『徳島文学』の御蔭である。賜物である。執筆者に感謝している。

『徳島文学』に自作が掲載されるように、日がな一日執筆に勤しんでいる方もたくさんおられるだろう。私もその一人である。私は、小説は書けないが、孰れは執筆陣に加わり、読者に現代文学の面白さを伝えることが出来たら幸いである。

元気でありますように

高梨 花子

「大丈夫かな」

ずっと一桁だった徳島のコロナ感染者が二桁になったとき、皆さんの顔が浮かびました。

いつもきれいに化粧をしてはきはきと話すあなたの方。電話をくださったとき、すぐにわかりました。

ゆっくりとやさしい声のあなたの方。

笑顔がかわいいあなたの方。

「自分の書くものが人を傷つけたらと思うとこわい」と話していたあなたの方。

小説広場、ブラッシュアップ講座で何度も作品を読ませて頂いたあなたの方。

朴訥で正直な感想を伝えてくださる

あなたの方。

ほめるときは丁寧な、欠けているところは遠慮がちに伝えてくださるあなたの方。

理路整然と話すあなたの方。

少し緊張した顔の最近入会されたあなたの方とあなたの方。

一年前、小説講座をさがしていたとき、徳島文学協会の小説広場をみつめました。問い合わせをしたら、とても親切に対応してくださったあなたの方。

初めて出した小説広場、とても丁寧な感想、アドバイスに驚き。ブラッシュアップ講座にも参加。画面越しに聞こえる声は今まで聞いたことのない音で、緊張の二時間。熱量に圧倒され。それから「徳島に出す」ことが私の書く動機になって。講座に参加できなかった数か月はYouTubeを何度も見て。先生のことばに胸が震えて。家族にも見せて。

徳島文学協会に入って、書く楽しみ、読んでもらう楽しみを知りました。いつか徳島に行って、皆さんが参加している講座をこっそりのぞきたいです。動いている皆さんを見たいです。これからも皆さんが元気でありますように。

「ハコ」：古代エジプト文明の知恵の神「トート」に由来する。

掲載作品募集

会員のみなさんの積極的なご応募をお待ちしております。

「とと」ニューズレター

原稿はワード形式で事務局へお送りください。（送信時には件名に『とと掲載用』と入れてください）

◆エッセイ等 八百字以内

◆詩 四百字以内

◆短歌 三首以内

◆俳句 三句以内

「とと」は春、夏、秋の年三回発行ですが、一回につき掲載できるエッセイは二〜四作品です。先着順で掲載できない場合は次号に回します。

ホームページ「作品広場」

原稿はワード形式で事務局へお送りください。小説、エッセイ、評論、児童文学、詩、俳句、短歌などオリジナルの作品に限ります。

最新掲載作品

俳句「志士の影」 魚井遊羽

作品、募集要項はホームページで

<https://www.t-dungaku.com/plaza.html>



徳島文学四号 発行記念懇親会

五月二十九日(土) 於..Zoom

徳島文学四号の発刊を記念して徳島県内外から二十名ものご参加を頂き、Zoomを用いたオンラインビデオ通話による懇親会を開催いたしました。

徳島在住のいつもの会員の方や、遠方の会員の方で普段お会いすることが叶わない方や、協会のイベントに初めてご参加される方もいらっしゃいました。みなさん思い思いのアルコールやソフトドリンクを手に画面越しに乾杯しました。遅れて参加される方もおられたため、Zoomに誰か入室するたびに乾杯が行われ盛り上がりました。

まず協会から当面のイベント案内をさせて頂き、画面越しではありましたが初めてお会いする方々もおられたため、参加者のみなさんそれぞれに自己紹介をしていただきました。作品を寄稿して頂いた方々にはその事にも触れていただいたりしながら歓談しました。その後、角田光代さんに徳島文学に小説を寄稿して頂いたことや、その作品の良さなどについて話し合い、徳島文学四号の発刊を大いに祝いました。

画面に徳島文学を一号から四号まで並べてくださっている方もおり、最後には徳島文学四号を手になさって記念写真を撮るなどZoomならではの懇親会を

楽しみました。

昨年受賞報告がありましたが、今年はなかむらあゆみさんの阿波しらす賞の徳島新聞賞受賞のお話も聞くことができました。

来年もどなたかの受賞報告をお聞きできるのを楽しみにしています。

ご参加の皆様、ありがとうございました。



四国大学第二回 富士正晴全国高校生文学賞

◆対象・高校生

文芸部誌に掲載された個人の小説作品。もしくは個人の小説作品を応募することも可能です。A4用紙に縦書きで印字するか、市販の原稿用紙で応募してください。

◆応募規定

二〇二〇年十月一日以降に発行された文芸部の部誌を一枚につき一冊お送りください。

●お送りいただく際には「応募用紙」に必要事項を記入の上、文芸部誌の表紙の裏に糊で貼り付けてください。

●応募用紙は『四国大学第二回 富士正晴全国高校生文学賞パンフレット』をホームページからダウンロードし、印刷してご使用ください。

●応募いただいた文芸部誌は返却できません。

●他の文芸賞に応募した文芸部誌でも本賞に応募可能です。

◆募集期間

七月十二日(月)～
十月十日(日)【消印有効】

◆送付先

〒七七一-一八九二
徳島県徳島市応神町古川
四国大学文学部日本文学科
「富士正晴全国高校生文学賞」係

◆審査

文芸部誌の小説作品および個人の応募作を対象として審査し、最終選考に残った作品について四国大学にて各賞を決定します。

◆最終審査員

阿部曜子
(四国大学文学部長)

佐々木義登

(四国大学文学部日本文学科教授)

館健一

(四国大学文学部日本文学科講師)

◆賞

大賞…一作品

優秀賞…三作品

奨励賞…六作品

※各賞の受賞者には、四国大学分野別入試(芸術分野)【文学部日本文学科】A区分の受験資格が与えられます。本入試を受験して入学されますと、毎年八十万円の特別奨学金が四年間給付されます。

※大賞は、受賞者の言葉と受賞作品を徳島文学協会発行の文芸雑誌『徳島文学』に掲載します。

◆審査結果

二〇二二年一月に受賞者へ通知します。

◆応募に関するお問合せ

四国大学文学部日本文学科
〒七七一-一八九二
徳島県徳島市応神町古川
電話(〇八八)六六五九五四
(担当:佐々木)

◆主催

四国大学

◆協賛

徳島文学協会

パンフレットのダウンロードはこちらから
<https://www.shikoku-u.ac.jp/docs/20210701fujimasaharu02.pdf>



文学イベント案内

【会員の皆様へ】

新型コロナウイルスの影響により「ブラッシュアップ小説講座」および「小説エキスパート講座」を一年間にわたり無料で開催してまいりましたが、Zoomを利用し現在は対面と遜色ない内容で講座を行うことができるようになりました。つきましては前述した講座につきまして、今後は協会の運営資金確保のためにも従前の通り有料とさせていただきます。皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。
徳島文学協会代表 佐々木義登

ブラッシュアップ小説講座

既に小説作品を複数書かれている方が更なるステップアップをするための小説実作講座です。レベルとしては地方文学賞で入賞以上を目指す中級程度の内容となります。

- 開催日 ①8月21日(土) ②9月25日(土)
③10月23日(土) ④11月27日(土)
全回 21時～22時
- 開催方法 『Zoom』による開催
- 参加費 会員のみ対象
作品を提出される方 3,000円
参加のみ 1,500円
- 講師 作家・四国大学教授 佐々木義登
- 定員 15人程度
- 締切 開催日の10日前まで ※先着順

小説エキスパート講座

全国公募の文学賞で最終選考程度の実力のある方やプロの作家を目指している方。また、作品を提出した上で講師からの指名があった方を中心に、本格的なスパリングを行います。

- 開催日 ①9月4日(土) ②11月13日(土)
全回 21時～22時
- 開催方法 『Zoom』による開催
- 参加費 会員のみ対象
作品を提出される方 3,000円
参加のみ 1,500円
- 講師 作家・四国大学教授 佐々木義登
- 定員 10人程度
- 締切 開催日の10日前まで ※先着順

通信句会

- 開催月 7月・10月・1月
- 参加費 会員のみ対象 無料
- 講師 俳人・うっかり

※参加方法他

- ①投句3句受付《15日締切》
当季雑詠(その季節の俳句)を事務局にメールまたはハガキで投句ください。(一人3句まで・未発表作品に限る・ネット掲載も不可)
「通信句会参加希望」●会員番号●お名前●投句 を記載ください。
後日事務局より投句をとりまとめ、投句一覧を参加会員へ送付いたします。
- ②選句3句・選評受付《25日締切》
投句一覧から3句を選び、選評を書いて事務局にメールまたはハガキでお送りください。
「通信句会選句」●会員番号●お名前●選句●選評 を記載ください。
後日事務局より、参加会員の選句と選評、講師の句評をまとめた句会報を参加会員へ送付いたします。
- ③みんなの文芸誌『カクヲタノシム』誌面掲載《2022年冬》
参加会員の俳句を掲載予定です。

秋の句会

リアルに集まって句会を行います。投句は秋の句を二句ですが、一句でも、聴講だけでも大丈夫です。詳細は協会までお問い合わせください。

- 開催日 11月6日(土) 18時～19時30分
- 場所 徳島県立文学書道館
- 参加費 会員のみ対象 1,000円
- 講師 俳人・うっかり

詳細は徳島文学協会ホームページ
イベント情報をご覧ください

<https://www.t-bungaku.com/event.html>



※講座参加費と作品提出料は、後日とりまとめの上、『とと』に請求書と払込取扱票を同封し、年3回お送りいたします。

※Zoomでの参加方法がわからない方に、無料でサポートしています。
お気軽にお問い合わせください。

第3回わかやま文芸
フェスティバルに
出店します

有吉佐和子や中上健次らを輩出した地、和歌山で文芸の発展、復興を目標とし、創作文芸作品発表の場として開催される「第3回わかやま文芸フェスティバル」に徳島文学協会が出店いたします。

協会のブースでは、芥川賞作家の吉村萬吉さんがZoomでご参加されます。吉村さんのご著書を購入下さった方は直接お話ししていただけます。ぜひご来場ください。

■開催日時

八月八日(日)

十一時～十六時(予定)

■会場

和歌山県JAビル二階
和ホール

■入場料 無料

※吉村萬吉さんのご参加は十三時三十分～十五時三十分の予定です。

詳細はわかやま文芸フェスティバルのホームページにて

<https://wakayamabunfest.com/>



ご入会や講座のお申込み・お問合せは徳島文学協会事務局まで

〒771-3201 徳島県名西郡神山町阿野字方子 103

TEL : 080-6284-0296 society@t-bungaku.com <https://www.t-bungaku.com/>